

■橘秋子 バレリーナ。自らパプロバの下に飛び込んで修業、橘バレエ学校を開設、娘の牧阿佐美はじめ逸材を輩出した。

たちばなあきこ

韓国反日暴動1907＝ 栃木県宇都宮市宿郷町で、大農家福田喜平・テフの三女に生まれる。本名福田サク。

明治天皇没・1912＝ 5歳：

第一次大戦始1914＝ 7歳： 築瀬尋常小学校に入学。

民本主義・・1916＝ 9歳： 遊戯、なかでも踊りが好きで、

ベル仁条約・1919＝12歳： 流行したスペイン風邪に罹って高等女学校受験を断念し、高等科ある小学校に進み、教師になろうと、

原敬首相暗殺1921＝14歳： 栃木県立女子師範学校に入学、家が近いこともあって寄宿舎に入らず自宅通学、その姿が名物になる。
何でもやらされ、躰けも厳しい教育に鍛えられる一方、暇を見てはダンスの練習をし、

治安維持法・1925＝18歳：

日本時代始・1926＝19歳： 「ダンスについて」を書いて、卒業。謝恩会で一人で踊って喝采を浴びる。国分寺尋常高等小学校に赴任。生徒全員にダンスを教えただけでなく、音楽、短歌、バスケットボールまで教える万能ぶりで、親たちにまで慕われるが、

世界恐慌・・1929＝22歳： 突然辞任し、両親の反対を押し切って上京、成城学園の小林宗作について音楽・舞踊の基礎教育リトミックを学ぶうち、革命で亡命してきていた「日本バレエの母」エリアナ＝パプロバのバレエ団の存在を知り、マネージャーしていた沢静子に紹介して貰うや、トウシューズで立つなど才能を認められ、内弟子となって橘秋子の名をつけられ、3日目には東京松竹座で初舞台となる。以後、父から絶縁されるなか、沢の励みも受けて、厳しい指導のもと、練習の鬼となり、

満州事変・・1931＝24歳： 台湾巡業後には、*早くも舞踊「虐げられた民」を創作して好評を得る。

五一五事件・1932＝25歳： エリアナの結婚話に反対した沢が辞めて、バレエ団が解散となり、個人的に稽古をつけて貰ううち、小学校勤務時代に知合いで東京音楽学院を出た北沢牧三郎(牧幹夫)が参加してきて相愛となり同棲、

国際連盟脱退1933＝26歳： この年、エリアナが日本に帰化し蚕糸会館を舞台として確保。誕生した楽壇短歌会に参加。*娘(牧阿佐美)を出産するが、知人に預け、牧が建てた稽古場に橘バレエ研究所を開設し、

帝人疑獄事件1934＝27歳： 日比谷公会堂で、独立後初の発表会を開く。

日中戦争始・1937＝30歳： 第四回発表会では娘阿佐美が初舞台となるが、

総動員+健保 1938＝31歳： 妻には太刀打ちできないと感じたのか、夫がかねて傾倒するタゴールの国インドに逃げるように渡航、寂寥感から、旅に出たり、傷病兵慰問に回るも救われず、稽古場確保して弟子育成に専念するうち回復、

大政翼賛会・1940＝33歳： 日本青年館で、新作発表会。横文字禁止で、橘秋子舞踊団と改称。山西省慰問団に参加、

日米開戦・・1941＝34歳： 続いて、広東、海南島、中支軍慰問団団長として中国滞在中のエリアナが破傷風に罹り死去。

・・・・・1942＝35歳： 北満州、

創価学会検挙1943＝36歳：

年金+総武装 1944＝37歳： チチハル、ノモンハンと、戦時中は慰問旅行に追われる。娘阿佐美を引取り郷里宇都宮に疎開。

敗戦・・・1945＝38歳： 敗戦とともに、上京し、

新憲法公布・1946＝39歳： 戦時中世話になった新宿の二葉保育園に、*橘秋子バレエ研究所を再開。

新憲法施行・1947＝40歳： 日比谷公会堂で、橘秋子バレエ団公演となるも、夫から日本へは帰らぬつもりという手紙受け衝撃。

極東裁判決・1948＝41歳： シューベルト「未完成交響曲」振付し好評。娘阿佐美の披露公演を行う一方、早期英才教育をめざして、

朝鮮戦争始・1950＝43歳： 橘バレエ学校を設立。新橋演舞場で、オペラの前座で公演したベートーベン「運命」が好評。

独立回復・・1951＝44歳： 井の頭公園近くに、校舎が完成。

メーデー事件・1952＝45歳： 学校法人として認可され、武者小路実篤を会長とする後援会も発足。

TV放送始・・1953＝46歳： 第一回卒業式。日比谷公会堂で特別公演。公演のため来日したアレクサンドラ＝ダニロワに依頼し、

自衛隊発足・1954＝47歳： 娘阿佐美をアメリカで1年間指導して貰う。

55年体制始・1955＝48歳： 滝行して力の湧いてくることを感じると、弟子らにも滝行ほか茶道その他礼法も修業させ始める。再来日したダニロワと弟子らも共演して喝采浴び、

国連加盟・・1956＝49歳： 故郷宇都宮で公演し錦を飾ると、娘に継がせるべく牧阿佐美バレエ団に名を改め、

なべ底不況・1957＝50歳： 阿佐美を主役の雅楽取入れた「飛鳥物語」を公演。三度目来日のダニロワとの共演で弟子らも一段と飛躍。

この間、バレエ団が抱える赤字の解消に奔走の一方、エリアナの妹ナデジダのバレエ教室に資金援助。

安保闘争・・1960＝53歳： 橘秋子バレエ30周年・橘バレエ学校創立10周年記念公演。バレエ「運命」で芸術選奨文部大臣賞。

タイタイ病始・1961＝54歳： 振付した「悲愁」「白夜」などにより、牧阿佐美バレエ団が芸術選奨文部大臣賞。

全国総合計画1962＝55歳： 自らは会長、娘を社長に株式会社化、日本初の職業バレエ団にし、欧米バレエ団視察旅行。全面改訂の「飛鳥物語」を、開演間際に主役阿佐美がアキレス腱を切ると、大原永子・森下洋子を猛指導して成功させ、

TV宇宙中継始1963＝56歳： 芸術選奨文部大臣奨励賞。定期公演に踏切り、「ジゼル」を踊り、「角兵衛獅子」を発表。

東京リビウク 1964＝57歳： 舞踊ペンクラブ特別賞。阿佐美も見事なカムバック。

いざなぎ景気1966＝59歳： 明治40年生まれの財界人や文化人の集まる{四十年会}に紅一点で参加したことが縁となり、愛知揆一会長に後援会が発足。バレエ団が芸術選奨文部大臣賞。3年がかりで取組んだ「戦国物語」を上演し、

美濃部都知事1967＝60歳： 芸術祭奨励賞。同年の最年少での紫綬褒章。

震ヶ関ビル・1968＝61歳： 新設の芸術選奨新人賞を大原永子が受賞。以後、プリマ級の弟子を相次いでアメリカ留学させ、

1969＝62歳： *定期公演を続け、バレエ芸術振興に奔走したが、ついに肝硬変で倒れ、以後、入院を繰り返し、

大阪万博・・1970＝63歳： 夫がボンベイで倒れた報に、阿佐美を駆けつけさせるも、すでに昏睡状態で、遺骨を持って帰ると、

トルジョック・・1971＝64歳： 力つきたように、没した。